



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月7日

上場会社名 株式会社 京都ホテル 上場取引所 東
 コード番号 9723 URL http://www.kyotohotel.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)平岩 孝一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)森下 一典 (TEL)075(211)5111
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	7,418	0.8	△163	—	△425	—	△300	—
25年12月期第3四半期	7,361	1.1	7	—	△292	—	△191	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	△29.08	—
25年12月期第3四半期	△18.59	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	18,911	1,563	8.3
25年12月期	19,001	1,899	10.0

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 1,563百万円 25年12月期 1,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	—	—	3.00	3.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,774	2.8	470	18.6	114	—	30	—	2.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年12月期3Q	10,389,000株	25年12月期	10,389,000株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	61,190株	25年12月期	59,739株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年12月期3Q	10,328,909株	25年12月期3Q	10,304,695株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを完了していますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、全体としては緩やかな回復傾向を維持いたしましたが、4月の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動がやや長引いていることに加え、天候不順もあって、個人消費の回復にもたつきがみられ、また他の需要項目も弱さがみられるなど、時に足踏み状態も余儀なくされて参りました。

この間、京都のホテル業界におきましては、宿泊部門は個人旅行者が堅調であったほか、円安効果による外国人宿泊客も引き続き増加傾向を辿りましたが、宴会・料飲部門は低調裡に推移しました。

このような環境下、当社におきましても、宿泊部門が好調を維持しましたが、既存レストランや婚礼部門が振わず、そのため高島屋京都店内に惣菜コーナーを出店、また新町にバー・レストランを新設する等売上増に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,418百万円(前年同期比57百万円増)となりました。しかし、婚礼宴会の落ち込みや、中国料理「桃李」の大型改装工事の影響等により、計画を大きく下回る結果となりました。

一方、収益面におきましては、売上伸び悩みの中で、円安による料理材料費の高騰、中国料理「桃李」改装工事関連費用の計上等もあり、営業損失は163百万円(前年同期は営業利益7百万円)となりました。

ホテル事業の部門別の営業概況は次のとおりです。

宿泊部門

京都ホテルオークラの宿泊売上高は、国内エージェント及びインターネット経由の個人客の利用の増加に加え、ヨーロッパやアジアからの外国人客(団体・個人)が好調に推移した結果、前年同期比160百万円増となりました。

また、からすま京都ホテルにおきましても、欧米やアジアからの外国人客及び国内エージェント経由の個人客が引き続き堅調に推移した結果、売上高は前年同期比14百万円増となりました。

これらの結果、宿泊部門全体の売上高は2,257百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

宴会部門

京都ホテルオークラの一般宴会は、大型インセンティブ等の開催により、前年を上回る売上となりました。一方、婚礼売上におきましては、件数、人数、単価とも減少傾向が続いたことにより、前年を大きく下回ったため、全体の売上高は前年同期比134百万円減となりました。

からすま京都ホテルの一般宴会は件数、金額ともに減少し、売上高は前年同期比23百万円減となりました。

この結果、宴会部門全体の売上高は2,196百万円(前年同期比6.7%減)となりました。

レストラン部門

京都ホテルオークラでは、京料理「入舟」、鉄板焼「ときわ」が順調に推移しましたが、中国料理「桃李」が改装工事のため営業を中止したことが響き、売上高は前年同期比123百万円減となりました。

からすま京都ホテルでは、中国料理「桃李」、お食事処「入舟」が堅調に推移し、売上高は前年同期比6百万円増となりました。

この結果、レストラン部門全体の売上高は1,863百万円(前年同期比5.9%減)となりました。

その他部門

その他部門の売上高は1,101百万円(前年同期比16.8%増)となりました。

主な増加要因は、前年7月に開業した「ザ・ガーデン岡崎」が堅調に推移したことに加え、今年5月にスタートした高島屋惣菜店「高島屋1888」、及び新町にオープンしたバー・レストラン「新町1888」の売上が計上されたことと、京都ホテルオークラ別邸「栗田山荘」が好調に推移したことによるものです。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)		前年同期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	2,257,260	30.4	8.4
宴会部門	2,196,970	29.6	△6.7
レストラン部門	1,863,465	25.1	△5.9
その他部門	1,101,090	14.9	16.8
合計	7,418,786	100.0	0.8

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ89,291千円減少し、18,911,826千円となりました。

負債につきましては、前事業年度末に比べ246,777千円増加し、17,348,261千円となりました。

また、純資産は前事業年度末に比べ336,068千円減少し、1,563,564千円となり、自己資本比率は8.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の通期業績予想につきましては、前回(平成26年8月13日)に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

なお、今度の経済状況や旅行者等の動向情報を収集した上で、通期の業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

役員退職慰労引当金

当社は、平成26年2月13日開催の取締役会において、平成24年12月31日をもって取締役の役員退職慰労金制度を廃止することを決議し、平成26年3月27日開催の定時株主総会で取締役に対する退職慰労金の打ち切り支給案が承認されました。これに伴い、取締役に対する「役員退職慰労引当金」を取崩し、当第3四半期会計期間末現在の未払額29,809千円を固定負債の「長期未払金」として計上しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	397,665	371,479
売掛金	532,819	427,194
原材料及び貯蔵品	124,444	94,172
前払費用	82,248	104,637
繰延税金資産	49,968	101,076
その他	17,856	14,140
貸倒引当金	△121	△250
流動資産合計	1,204,880	1,112,450
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	11,900,956	11,703,252
構築物(純額)	120,052	109,695
機械装置及び運搬具(純額)	51,458	56,860
器具及び備品(純額)	315,536	307,160
土地	5,071,341	5,071,341
リース資産(純額)	44,751	167,276
建設仮勘定	4,410	-
有形固定資産合計	17,508,506	17,415,586
無形固定資産		
ソフトウェア	46,208	36,638
リース資産	12,071	7,424
電話加入権	4,429	4,429
商標権	-	479
ソフトウェア仮勘定	3,360	31,085
無形固定資産合計	66,070	80,055
投資その他の資産		
投資有価証券	69,965	63,900
長期前払費用	58,114	26,839
差入保証金	59,297	71,390
繰延税金資産	22,191	129,803
その他	12,090	11,800
投資その他の資産合計	221,659	303,733
固定資産合計	17,796,236	17,799,375
資産合計	19,001,117	18,911,826

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	303,971	183,254
短期借入金	150,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	975,420	1,055,420
リース債務	19,422	30,776
未払金	542,221	737,309
未払費用	203,072	97,912
未払法人税等	12,914	8,880
前受金	51,961	83,939
預り金	71,493	40,475
前受収益	46,033	58,450
賞与引当金	-	76,080
その他	39,312	38,903
流動負債合計	2,415,822	3,211,402
固定負債		
長期借入金	13,635,512	13,022,947
リース債務	42,207	158,656
長期未払金	75,488	85,828
退職給付引当金	28,932	12,664
役員退職慰労引当金	46,457	4,200
長期預り保証金	857,064	852,564
固定負債合計	14,685,662	14,136,859
負債合計	17,101,484	17,348,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	969,000	969,000
資本剰余金		
資本準備金	210,304	210,304
資本剰余金合計	210,304	210,304
利益剰余金		
利益準備金	18,511	21,609
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	716,751	382,278
利益剰余金合計	735,262	403,887
自己株式	△25,471	△26,214
株主資本合計	1,889,096	1,556,977
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,536	6,586
評価・換算差額等合計	10,536	6,586
純資産合計	1,899,633	1,563,564
負債純資産合計	19,001,117	18,911,826

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高		
室料売上	2,010,184	2,159,254
料理売上	3,187,658	3,159,567
飲料売上	573,116	551,333
雑貨売上	393,858	393,233
その他売上	1,196,267	1,155,398
売上高合計	7,361,085	7,418,786
売上原価		
料理原料	943,559	987,245
飲料原料	126,476	126,415
雑貨原価	311,822	314,958
その他原価	210,139	180,234
原価合計	1,591,997	1,608,853
売上総利益	5,769,087	5,809,933
販売費及び一般管理費	5,761,230	5,973,570
営業利益又は営業損失(△)	7,856	△163,637
営業外収益		
受取利息	31	32
受取配当金	1,042	618
補助金収入	1,457	2,930
受取手数料	3,361	3,428
その他	6,363	5,148
営業外収益合計	12,257	12,158
営業外費用		
支払利息	249,880	241,317
支払手数料	61,800	31,800
雑損失	948	1,002
営業外費用合計	312,629	274,120
経常損失(△)	△292,515	△425,598
特別利益		
投資有価証券売却益	18,169	-
特別利益合計	18,169	-
特別損失		
固定資産除却損	21,657	26,633
特別損失合計	21,657	26,633
税引前四半期純損失(△)	△296,003	△452,231
法人税、住民税及び事業税	3,529	4,760
法人税等調整額	△107,956	△156,604
法人税等合計	△104,427	△151,844
四半期純損失(△)	△191,576	△300,387

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。